

有機・無機複合土壌改良材 OH-C

ダイトウ テクノグリーン株式会社
〒194-0013 東京都町田市原町田1-2-3
☎(042)721-1703 FAX(042)721-0944

OH-Cは菌体タンパク、アミノ酸、ビタミン類、リン酸分が豊富に含まれた高栄養腐熟堆肥と無機質系の真珠岩パーライト及び土壌有効菌を混ぜて発酵させてあるので土壌の微生物性、化学性及び物理性の改善を行い、根の発達、活着が促進され旺盛な早期生育が見られる。またパーライトが飛散したり混合不良といった事がないため現場における施工が非常に容易である。最近では、一般植栽から老齢木や根系ストレスによる衰退木の樹勢回復など幅広く利用されている。

■主な効果

- ①活着発根促進
- ②良質有機物による長期養分供給
- ③土壌の通気・透水・保水性を向上させ固結防止
- ④腐植のはたらきにより土壌の団粒化を促進

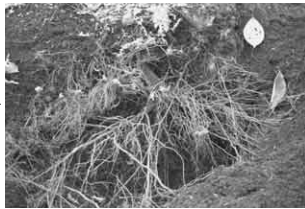


山梨県 山高神代桜（国指定天然記念物） OH-Cを用いた樹勢回復実施

樹勢回復の効果は 旺盛に発生した根系が実証 (ソメイヨシノ古木 推定樹齢60~70年)



実施前



実施1年後

クスノキへの実施事例



対策前



対策1年10ヶ月後

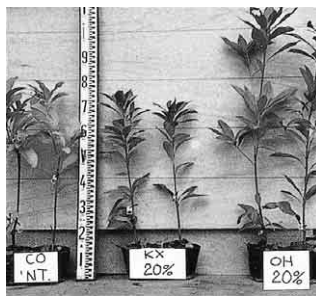
■のり枡客土への利用（ヘデラカナリエンシス）



植栽時

6か月後
強酸性土壌へ20%混合

■OH用高養分腐熟堆肥によるポット試験 (造園雑誌 Vol.46、No.5 研究論文集 1983 Mar.)



試験開始後1年7ヶ月。

マテバシイポット苗
(3年生)
CONT: 赤土
(関東ローム)
KX: パーク堆肥
(20%)
OH: OH用高養分腐熟
堆肥 (20%)
* 赤土に対する容積比

荷姿



40ℓポリ袋入
(14~16kg)

<使用方法>

使用対象	使用量（土壌に対する容量）	使用方法
樹木	改良土壌に対し10~20%	土壌に混合し、十分にかくはんを行う。 (乾燥すると飛散しやすいので、すぐ土壌と混和し、十分にかん水してください)
芝類、ツタ・地被類	表層土壌10~15cmに対し15~20%	

分析(乾物%)

腐植質	全窒素 N	全磷酸 P ₂ O ₅	全加里 K ₂ O	全苦土 MgO	炭素率 C/N	水分
35%以上	1.5%以上	2.0%以上	0.5%以上	0.4%以上	15以下	40~50%